

## 第 27 回全日本マウンテンバイク選手権大会 ケミカルレポート

大会名：第 27 回全日本マウンテンバイク選手権大会

期日：2014 年 7 月 20 日（日）

会場：静岡県日本サイクリススポーツセンター特設コース

天気：晴れ

競技種目：XCO 男子シニアエリート

4.25 km×7 周回（29.75km）

スタート：13：30

出場者数：71 名（エントリー73 名、完走 9 名）

ホルメンコールサポート選手結果

男子エリート

3 位：斉藤亮選手（BRIDGESTONE ANCOR CYCLING TEAM）

4 位：平野星矢選手（BRIDGESTONE ANCOR CYCLING TEAM）

5 位：恩田祐一選手（MIYATA-MERIDA BIKING TEAM）

6 位：小野寺健選手（MIYATA-MERIDA BIKING TEAM）

10 位：松尾純選手（MIYATA-MERIDA BIKING TEAM）

男子 U23

優勝：沢田時選手（BRIDGESTONE ANCOR CYCLING TEAM）



国内で最大の UCI ポイントの付く全日本選手権。ホルメンコールバイクライン・ケアラインサポートの各選手は上記のような好成績を収めてくれました。当日行ったチェーンやフレームに対するコーティングを紹介します。

### チェーン

[ライニガー](#)を使用し、[LUFT](#) チェーンクリーナーで完全脱脂。[ケアフリース](#)で拭きあげます。BS アンカーが使用するのはシマノ製チェーン。ミッシングリンクを採用していないため [LUFT](#) チェーンクリーナーを使用して洗浄します。ミヤタメリダが使用する [KMC](#) チェーンはミッシングリンクを採用しているため、状況に応じて取り外して洗浄する。

拭きあげから 15 分ほど置いてチェーンコーティングを開始します。チェーンをセットした状態で行ないます。[ルーベエクストリーム](#)をチェーンのリンクの隙間に入るように注油。これは上下両方向から 1 周ずつ。オイルが飛び散らない程度の早さでクランクを前回り 30 秒、逆回り 30 秒程度回してなじませます。寒い時期はオイルが硬くなっているため、なじませる時間を長く撮ります。ルーベエクストリームのワックス成分はフッ素です。フッ素は水や油をはじく性質がありますが、コートしたい本体（この場合チェーン）からも離れようとしてしまいます。この矛盾を克服するために粒子をナノ化し、付着をより強固なものに変えたのがルーベエクストリームであり、特許取得の所以です。

なじませた後はケアフリースでチェーンを包んで持ち、クランクを回しながら拭き取れるところは完全に拭き取ります。変速ショックを滑らかにするためには、チェーンのローラー面のオイルを少し残しておきます。外側（プレート側面）に残ったオイルは汚れ付着の原因になってしまうので念入りに。その後ケアフリースに[スポーツクリーン](#)をしみ込ませ、チェーン外側を拭き取り、[ダートプロテクター](#)を塗っておくと無用な汚れの付着が少なくなり、チェーントラブル回避につながります。

#### スプロケット

カセットスプロケットはホイールから外し、[ライニガー](#)で完全脱脂します。LUFT コグブラシを使用すると隙間に入った泥なども落とせます。その後[ダートプロテクター](#)をスプレーすることによって余計なごみや泥などが付着しにくくなります。完全に乾燥してから取り付けます。

#### スポークとリム

ケアフリースにダートプロテクターをスプレーし、しみ込ませたもので拭きあげます。クランクやペダルなどのメタルパーツには直接スプレーしておきます。

#### フレーム

[スポーツポリッシュ](#)のボトルをよく振ってからケアフリースに適量取り、フレーム全体に塗り込みます。本剤が乾燥したら拭き取ります。次にアクアスピードも同じ工程で行ないます。塗り込みはケアフリースで、拭き取りはマイクロファイバー製のクロスまたは人工セーム革で。その後同じ工程で[アクアスピード](#)を使用すると、ツヤと輝き、ほこりの付きにくさが持続します。

#### シューズ

今回は乾いた路面のため濡れることはなさそうでしたが、汚れ防止にもなる[ハイテクプルーフ](#)をスプレーします。足がシューズの中で滑ってしまわないように、インソールを抜いた状態でスプレーします。前日の試走で汚れがひどい場合は、[シュークリーン](#)でのクリーニングが大きな味方になります。

#### ウェア

泥が跳ねあがるようなときや、降雨により体温が下がってしまうような場合は[ハイテクプルーフ](#)で仕上げますが、今回は選手任せ。事前に[テキスタイルウォッシュ](#)によって速乾性が向上しているバイクジャージは、快適性というアドバンテージを持たせてくれます。

#### サングラス

[ノーフォグ](#)でクリーニングと曇り止めコーティング。湿度が高く、曇りやすいときは内側にスプレーしたまま拭き取らず、乾燥させます。ムラにならないようにうちわなどで扇ぐときれいに乾燥させることができます。



前日の雨の影響で日陰では WET な状態で泥の飛散も見られました。レース終了後の斉藤選手のバイクはご覧の通りで、見た目のきれいさはもちろん、潤滑性能も十分残る状態で帰ってきました。

